



## ありあけ

2022(令和4)年  
8月1日(月)

## 学ぶことそのものがSDGsへの貢献に

校長 前嶋 正秀

世界的に有名な米国の歌手で、歌手として初めてノーベル文学賞を受賞したボブ・ディランさんの代表曲「風に吹かれて(Blowin' in the Wind)」の歌詞に「How many times must the cannon balls fly before they're forever banned?」という節があります。日本語では「どれだけの(何回)砲弾が飛び交えば、それらは永久に禁止されるのだろうか?」という意味になるでしょう。ウクライナ侵攻は現在も続いていて、終戦の見通しも立っていませんが、このことによってSDGsの目標16「平和と公正をすべての人に」の実現が遅れるであろうこと、またこれに伴って世界規模の経済危機が訪れ、ひいては目標1「貧困をなくそう」および2「飢餓をゼロに」の達成も遠のく可能性があるので、これは事実であるような気がしています。

朝日新聞社が発行する「中高生のための朝日SDGsジャーナル」7月号では、モデルの世良マリカさんへのインタビュー記事が掲載されていますが、世良さんはこのインタビューの中で、自分の関心は最初のうちは環境問題に偏っていたが、さまざまな人々と出会ったり、いろいろな活動をしたりする中で、SDGsの内容はすべてが自分(が生きていくこと)に関係があると気づいた、という意味のことを述べています。これはとても大事なことだと思います。私たちの生活は、そのほとんどがSDGsの17の目標にひもづいていると言ってもいいでしょう。そして私たちはまず「自分にできる」ことからスタートさせればいいのではないかと思います。

SDGsというと、とかく我々は「SDGsに関心を持たなければならない」「SDGsを達成するために積極的に行動を起こさなければならない」と考えがちですが、「ねばならない」と考えてしまうと、どうしても発言や行動が義務的なものになってしまいます。そうではなく、前述したようにSDGsの内容はすべて、私たちの生活に密着していることを踏まえれば、自分が興味や関心のあるものをきっかけに、そこから小さな取り組みにつなげていくことが第一歩、それでいいのではないかと感じています。

世良さんは最後に、学べる環境と時間があることは決して当たり前のことではない、と訴えています。本当にその通りです。皆さんは色々な教科の学習をしていますが、これらの中に自分の興味や関心を惹くものはあるはずですし、それ以前に、一生懸命学習すること自体がSDGsへの貢献になるとも言えるでしょう。

## 7月のご報告

本校ホームページ「最新情報」ページをご覧ください。

情報センター「ドルフィン」のInstagramもおすすめてです。

【マーチングバンド部】カラーガード関東大会&全国高校総合文化祭のお知らせ

【高校新クラスの日常】第53号 新クラス2年生 船を制作

【受験生】「東洋経済 education×ICT」に掲載されました!

【中高サッカー部】活動報告

【大学入試】「AERA」7/11号に掲載されました。

【生徒会】SAKワークショップを開催しました!@パナソニックセンター東京(AkeruE)

他

\*今後の予定については、急な変更の可能性もありますので、学校からのメール連絡等をよくご確認ください。

次回は9/1(木)発行予定です。(広報部)